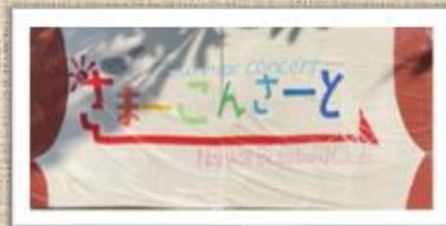


2022 櫛祭文化部門報告！ No.2 (部・委員会・PTA・生徒会・文化本部編)

吹奏楽部 (さまーこんさーと！！)

夏にコンクールがあったので練習は短い期間でしたが、今まであまり関わりの無かった人とも親睦を深めることができ、当日もお互い助け合いながら楽しく演奏することができました。3年生の先輩方にも助けていただきました。前日に照明をお願いしたのにも関わらず完璧にさせていただきました。本当にありがとうございました。



ダンス部 (Summer Live 2022)

文化祭に向けての練習は、大会やコロナの関係であまり順調には進みませんでしたが、当日の2日間はみんなが楽しんで踊り切ることができたと思います！123年生が揃って活動した、最初で最後の公演でした。トラブルが発生した場面もありましたが、無事に公演を終えることができて良かったです。見に来てくださった皆さん、運営や消毒誘導など文化本部の皆さん、この場をいただき、ありがとうございました！



演劇部 (La Vie et la mort)

自分たちの台本で、笑いのシーンで笑ってもらえたことが嬉しかったです！仲間たちと頑張って練習したかいがあったと思えました！！



競技かるた部 (競技かるた体験！！)

以前の文化祭を知る人のいない中で、部員一同ワクワクと不安でいっぱいでしたが、何とか終わることができ、一安心です。一日目は少々ぐだつき、二日目は反省を活かして良い運営ができたと思います。来年は今年を踏まえて、より良いものにしていくれたらと思います。マイナーな競技ということもあり、敷居は高かったと思いますが、そんな中でも来ていただいた方々には感謝でいっぱいです。また競技かるたがしたくなったら、ぜひ和室に遊びに来て下さいね～本音はもうちょいお客さんほしかったですね。目の前のカジノの行列にはほんと心を折られました。



茶道部（プチ茶道体験）

茶道部では例年お菓子とお抹茶をお出ししていたのですが、今年はお出し出来ないのではお客様も来られないだろうと、一日10人来てくれたら嬉しいなと思いながら準備をしておりました。しかし一日どころか1回で10人以上のお客様に来ていただけたことがとても嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです！



生物部（本物に見えて全然偽物の forest）

今回我々は春に撮った写真を飾って展示をさせていただきました。部員全員が協力して制作したものは、部活動の中で思い出に残る素晴らしいものになりました。



天文部（流れ星のシューティングコースター）

一つの部活内で3つの企画を同時にする！当初は無謀な挑戦なのでは？と思っていたのですが結果、最高の空間を作り出して良かったです！！ボードゲームは大人気でした☆



パソコン部（おいでよ、パソコンの部屋）

パソコン部では文化祭発表に向けてCGイラストや音楽制作DAW(DTM)やプログラミングなどに取り組んできました。

文化祭ではそれらの作品の展示を見てもらい、またプログラミング作品などは体験してもらいました。教室の装飾も今年は凝り、LED照明なども取り入れ、今までにない「美しいパソコン部」となりました。アンケートにも「楽しかった」とのコメントを多数いただき、ありがとうございました。



美術部（プラバン教室）

初めての文化祭で、どれくらい人が来るかなど様子がわからない状態で準備を進め大変でしたが、当日はお客さんに笑顔で帰って頂けて、感想ノートには楽しかったとコメントも頂き、とてもやりがいを感じられてこちらも楽しかったです。



文芸部（部誌「道草」の発行）

「道草」を手にとっていただいた皆様、ありがとうございました。文芸部は無人配布の形で文化祭に参加させていただきましたが、想像を超える繁盛ぶりに部員一同驚いております。夏休み前から筆を執り、トラブルに見舞われ、悩み話し合いながら無事、今回も個性豊かな作品が揃う部誌になりました。是非楽しんでいただけたら幸いです。素晴らしい部員、顧問、協力してくださった先生方、何よりもう一度あなたに感謝。



漫画イラスト部

（見て！聴いて！楽しんで！漫画イラスト展覧会） 今回は展示での参加でしたが、皆さんに見ていただきとても嬉しかったです。なかなか活動を見せる機会がなかったので展示ができてよかったです。



ボランティア部（点字の展示と東北支援）

私たちは点字の展示物作成と東北支援のご当地サイダーの販売を行いました。東北のサイダーを多くの人に買っていただいたことで支援だけでなく、魅力のあるサイダーを知ってもらいきっかけになったのではないかと思います。サイダーをたくさん仕入れたので完売できるか心配でしたが、2日間通して全て売り切ることができ、よかったです！点字の展示は夏休みに部員で新大久保の点字図書館に行き取材を行い多くのことを学びその内容をスライド発表しました。これをきっかけに身近にある点字にも注目していただけると嬉しいです。



図書委員会（古本市）

三年の役員も経験が無く、他にクラスや部活の出し物もある中で、素晴らしい古本市を作り上げることができたと感じています。今回は皆さんに、より足を向けてもらえる仕掛けをつくることを意識し、キッズゲルニカの制作や細かな装飾にも力を入れました。皆さんのお陰で、大成功と言っても良い結果だったと思います。古本を寄付してくれた生徒や先生、もちろん買ってくださった皆さんにもとても感謝しています。忘れられない思い出になりました。ありがとうございました。



生徒会執行部（学校紹介）

生徒会で文化祭を盛り上げたいと思い、「学校案内所」という企画を考えました。この企画は受験勉強や部活、クラス企画もありとても忙しい中、役員それぞれが協力してくれたおかげで通すことができたと思っています。また、たくさんの先生方が助け、協力していただき、なんとか最後までやり遂げることができました。今回企画を進める上で、人をまとめる難しさや的確に進めていくマネジメント力など、非常に多くのことを学びました。この経験はこれからの自分たちの成長につなげていきます。3年生は最初で最後の文化祭。コロナ禍の制限はありつつも無事に開催し、様々なことに挑戦でき、とても楽しかったです。見に来てくださった皆さん本当にありがとうございました。



生徒会執行部 3年（後夜祭）

皆さん文化祭お疲れ様でした。企画、運営を執行部に任せて頂いた事とても嬉しく思っています。後夜祭は、皆が初めての経験で準備段階からとても苦労しました。今回、希望者全員が後夜祭に参加出来たのは、先生方が生徒の想いに寄り添って下さり、生徒も感染症対策を徹底してくれたからだと思います。執行部一同、大変感謝しています。ありがとうございました!!

生徒会執行部 2年（後夜祭）

今回初めての文化祭で、後夜祭の企画を立ち上げから懸命に動きました。このご時世、色々懸念材料が多く、やりたいこともそのまま形にはできずもどかしさもありましたが、少しでも思い出に残れば・・・と思い準備に取り組みました！結果、後夜祭は大盛り上がりで、達成感が湧きました。そして「まだまだやれる！！もっともっと前から動くこともできたな、、ここはこうの方が良かったな、、」など改善の余地もあると気づきました。来年は最高学年でもあり最後の文化祭なので、今年よりもさらに良い後夜祭を創れるように努めます！！

PTA（リサイクル制服紹介） PTA 会長 小池真理子

三年ぶりの文化祭。誰もが初体験となる未知の世界は、テーマの如く、瞬間、瞬間に流れて行きました。来場者の背景を想像した思いやりある出店、工夫を凝らした構造、笑顔溢れるホスピタリティーのおもてなし。何より生徒皆さんが嬉々として楽しんでいらっしゃる姿は、一瞬一瞬は過ぎ去っても、目を閉じれば脳裏には色々な生命溢れる眩しい姿となり永遠を刻んでくれました。まだ見たい！もっと見たい！そう思わせてくれる世界を創造した成高生の皆さんのパワーに感動です！喜びをありがとう！皆さんの更なる輝かしい世界をこれからも期待して応援しています！最後に、文化祭開催をご決断くださり、常に生徒と共に一喜一憂しながらも開催に向けご支援ご指導くださいました高野校長先生はじめ教職員の皆様、心より御礼申し上げます。



保護者の方の声も聞きました



PTA の活動紹介



支援品の麦茶を生徒達へ

2022 櫛祭文化部門 表彰！



オンラインで閉祭式を実施しました。

表彰一覧

- 櫛祭文化部門大賞 3年7組
- 公演部門最優秀賞 ダンス部
- 展示催し物部門最優秀賞 3年7組
- 販売部門最優秀賞 3年4組
- 宣伝看板最優秀賞 3年7組
- クラスTシャツデザイン最優秀賞 3年7組
- 文化部門ポスターデザイン大賞 2年6組 玉木 歌



2022 櫻祭文化部門を終えて (文化本部編)

2年文化本部 副本部長 米本 遥香

今年の文化祭は初めてのことが多く、幹部として運営をしていくのは、想像よりもはるかに大変でした。私自身が幹部や先生に迷惑をかけて落ち込んでいた時は、いつも幹部の仲間や先生方が励ましてくれました。このメンバーだったからこそ、泣き笑いがあり、共に高めあってくれました。来年は新一年生が入り、今の先輩方は卒業してしまいます。とても悲しいことですが、先輩方を見習って精一杯努力していきます！



三年ぶりの「櫻祭-文化部門」開催。生徒全員が初体験の高校文化祭、文化本部内の引継ぎも途絶えた中、コロナ禍でどのように準備活動を行い、当日どういった形で実施できるのか、非常に厳しい状況でした。昨年度は、「文化発表会」という代替行事として、「成高生の主張—コロナが教えてくれたこと」というメッセージ看板の制作展示と、文化部の発表を行いました。それはそれで前例のない形だったので、当時許される範囲での文化的行事を模索し、安全に実施することに苦労しました。終了後まもなく、文化本部新幹部候補者から、「来年度に向け、活動を始めたい」との申し出があり、10月から準備を始めました。今年度も、感染症拡大状況の変化に翻弄され、紆余曲折の末に、飛沫の飛ぶ飲食部門は無し、三密を避けられないお化け屋敷と迷路は無し、換気で窓を開放すると近隣に音で迷惑がかかるため音楽室ステージの有志団体も無し、開閉祭式も放送とオンライン中継で、という縮小版にせざるをえませんでした。それでも、困難な局面に立ち向かい、出来る範囲で最高の成果を上げようと努力する皆の姿はとても美しく、感動的でした。一人ひとりが、それぞれの立場で経験や思い出など何かを得ることができたはず。文化本部幹部生徒も著しく成長しました。見守り手を差し伸べてくださった全ての方のご理解ご協力に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。(生活指導部 文化祭担当 高木玲子)